

玉の緒よ絶えなば絶えぬ
つたえす
5 糸色色

ながらば忍ぶることの

弱りしぞする
コエウ

中一ニ三

わたしの命よ、絶えることなら早く絶えてほしい。
このまま生きながらえていると、耐え忍んでいる
わたしの心も弱くなってしまう、秘めている思いが
人に知られてしまうことになろうから。
(百人一首 八九番 式子内親王)